

2020年6月23日



すかいらーくグループ

ワンウェイプラスチック 削減の取り組み

株式会社すかいらーくホールディングス

本資料は社外秘情報であり会社の情報資産です。

無断で第三者へ開示・複製・転送・配布等しないでください。

This material is confidential and the property of SKYLARK CO.,LTD..please DO NOT disclose,
copy,forward,deliver to any third party without approval of SKYLARK.

はじめに

当社は、国内外に約3,200店舗を展開する外食企業として、事業を通じたSDGs(持続可能な開発目標)への貢献を重要課題と位置づけ、サステナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行っています。

プラスチックによる広域的な海洋汚染や、漂着ゴミによる海岸における景観等の悪化が世界的に深刻な環境問題となるなか、ワンウェイプラスチック製品の削減に取り組んでいます。

第一段階として店舗のドリンクバーにおけるワンウェイプラスチック製ストローの常備廃止を取締役会で迅速に決定し、2020年から1年前倒しで廃止を完了しました。

その後、ストロー以外のレジ袋、宅配・テイクアウトのカトラリー、容器などについても削減すべく、部門横断のプロジェクトチームにおいて検討を進め、レジ袋、カトラリーのバイオマスプラスチック製品への移行を完了しました。

今後は、割り箸の袋、弁当容器など、当社が扱うあらゆる製品について、削減や代替素材への変更を進めていく予定です。

これからも安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、廃棄物やエネルギー問題による環境破壊に関するお客様の懸念が高まり続けることを踏まえ、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいります。

ワンウェイプラスチック削減に関する取り組み

1. ドリンクバー常備のストロー廃止

世界的な環境問題解決への取り組みの一環として、2018年8月、グループ全業態で2020年7月までにドリンクバーに設置している石油由来のプラスチック製ストロー廃止を発表。ストローが必要な方には植物由来のバイオマスプラスチックを提供。2019年7月末までに廃止を完了。これにより、年間約1億本を削減し、バイオマスストローの使用量は年間3,500万本となっています。

石油由来のプラスチック製ストローを削減した際のCO2は、約143t/年、約67%の削減となりました。

2. レジ袋および宅配・テイクアウトのカトラリーをバイオマスプラスチックに変更

2019年12月、宅配・テイクアウト用レジ袋（年間使用枚数約1,500万枚）を石油由来からバイオマスプラスチックに変更。2020年2月には、宅配・テイクアウト用カトラリー（ナイフ、スプーン、フォーク）をバイオマスプラスチックに変更。カトラリーは、宅配専用サイトでお客様に要・不要が選択できるようにし、全受注に占める使用量を約10%削減。今後、宅配サイトと統合し、さらに全体量を削減する予定です。

3. 箸袋を紙製、弁当容器を環境に配慮した素材に変更予定

割り箸個包装の素材を石油由来のプラスチック製から紙製に変更予定（2020年内）

弁当容器を石油由来のプラスチック以外の素材に変更予定（2020年9月予定）

発表資料（2018年8月17日）

すかいらーくグループ全業態でプラスチック製ストローの使用を 2020年までに順次廃止

報道関係各位



2018年8月17日

株式会社すかいらーくホールディングス

すかいらーくグループ全業態でプラスチック製ストローの使用を 2020年までに順次廃止 ～世界的な環境問題解決への取り組みの一環として～

株式会社すかいらーくホールディングス（本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部・証券コード 3197）は、このたび、すかいらーくグループの全業態（海外店舗含む）で使用している使い捨てプラスチック製ストローの使用を原則廃止することを決定しました。

その第一段階として、全国に約 1,370 店を展開するガストにおいて、ドリンクバーに常備しているプラスチック製ストローの使用を 2018 年 12 月までに廃止し、さらに、2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックまでに、全業態での使用を順次廃止してまいります。

なお、お客様や障害をお持ちの方など、ご要望や必要性があるお客様や、タピオカ入りドリンクやスムージーなどストローが不可欠な一部商品についてはストローをご提供しますが、すかいらーくグループでは、自然分解するプラスチックの素材や食材を使用した代替ストローなどの導入を検討し、環境問題へコミットメントをさらに高めてまいります。

「廃プラスチックによる広域的な海洋汚染や、漂着ゴミによる海岸における景観等の悪化は世界的に深刻な環境問題であり、海洋汚染防止にいち早く対応することが企業の責任と考えます。日本最大のレストランチェーンである当社がこの問題に取り組むことが社会における重要なステップになると考え、第一段階としてガスト全店舗のドリンクバーにおける使い捨てプラスチック製ストローの常備廃止に踏み切りました。引き続き、環境保護への取り組みを拡大し、サステイナブルな食事にコミットする企業を目指してまいります」と会長兼社長 谷 真は述べています。


すかいらーくグループは、外食産業のリーディングカンパニーとして、事業を通じた SDGs（持続可能な開発目標）への貢献を重要課題と位置づけ、サステイナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。店舗照明における LED 導入および従業員一丸となった省エネ・節水活動に加え、設備機器のメンテナンスや最新の省エネ機器導入による電気・水使用量の削減（8 年間で約 20%削減）、製造・物流における CO₂ の削減（直近の 6 年間で 20%以上削減）、食を通じて心身ともに健康な子供の成長を支えるリトルリーグの支援、ラオスにおける子供の教育支援としての絵本寄附などを着実に実施してまいりました。

今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、廃棄物やエネルギー問題による環境破壊に関するお客様の懸念が高まり続けることを踏まえ、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいります。

https://www.skylark.co.jp/company/news/press_release/2018/pk637h0000018hh0-att/eir.pdf

発表資料（2018年12月10日）

ガスト全店で使い捨てプラスチック製ストローを廃止


2018年12月10日
株式会社すかいらーくホールディングス

報道関係各位

ガスト全店で使い捨てプラスチック製ストローを廃止 ストローが必要なお客様にはバイオマスストロー™をご提供 2019年以降、他の業態でも順次廃止し、2020年までに全廃

株式会社すかいらーくホールディングス（本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部・証券コード3197）は、本日よりガスト全1,367店でドリンクバーに常備している使い捨てプラスチック製ストローを廃止します。特にご要望があった場合には、トウモロコシを原料とした生分解性のバイオマスストロー™をご提供します。

当社は、プラスチックごみの不適切な廃棄が世界的に深刻な環境問題となる中、日本最大のレストランチェーンとしてその削減に取り組むことが社会における重要なステップになると考え、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックまでに、全業態の使い捨てプラスチック製ストローの使用を順次廃止することを2018年8月に発表しております。

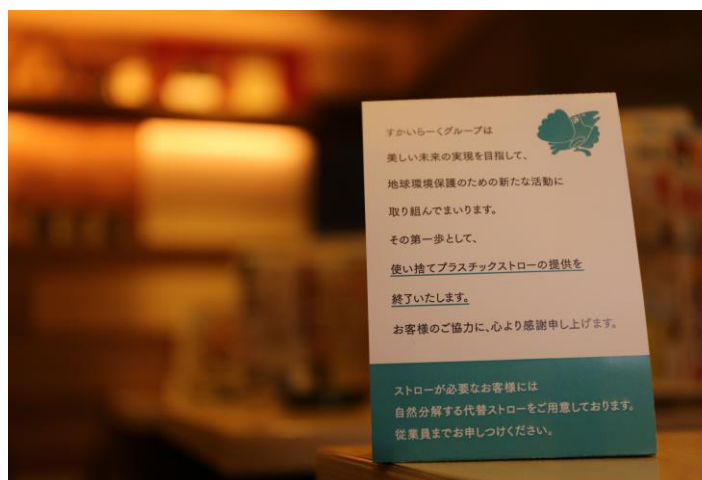
2018年9月より、都内の一部店舗でストロー廃止の実験を開始するとともに、ご要望に応じて提供するストローの素材として、紙、生分解性素材、食材等の代替品の導入を検討の結果、生分解性のバイオマスに決定しました。

バイオマスは、土中の微生物により最終的に水と二酸化炭素に分解されます。焼却した場合でも有害物質が発生せず、原料となる植物が光合成により二酸化炭素を吸収するため大気中の二酸化炭素の量が変わらないことから、地球温暖化防止に貢献すると考えられます。

すかいらーくグループは、事業を通じたSDGs（持続可能な開発目標）への貢献を重要課題と位置づけ、サステイナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。店舗照明におけるLED導入および従業員一丸となった省エネ・節水活動に加え、設備機器のメンテナンスや最新の省エネ機器導入による電気・水使用量の削減（8年間で約20%削減）、製造・物流におけるCO₂の削減（直近の6年間で20%以上削減）などを着実に実施してまいりました。

今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、廃棄物やエネルギー問題による環境破壊に関するお客様の懸念が高まり続けることを踏まえ、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいります。


※バイオマスストロー™は、当社が所有する商標です（商標登録出願済）。



https://www.skylark.co.jp/company/news/press_release/2018/pk637h000001arhe-att/Final3.pdf

発表資料（2018年12月17日）

外務省の「海洋プラスチックごみ対策 - 日本企業の先進的な取組例 -」に掲載



報道関係者各位 2018年12月17日
株式会社すかいらーくホールディングス

外務省の「海洋プラスチックごみ対策 - 日本企業の先進的な取組例 -」に掲載

株式会社すかいらーくホールディングス（本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部：証券コード 3197）のプラスチックストロー使用量削減の取り組みが、このたび外務省の「海洋プラスチックごみ対策 - 日本企業の先進的な取組例 -」に掲載されました。

外務省によれば、海洋プラスチックごみ問題を解決するためには、消費者や民間企業の取り組みが重要であり、日本企業も自社製品やサービスを通じて、海洋プラスチックごみ対策と持続可能な社会の実現に寄与しています。

当社は2018年12月10日、ガスト全1,367店でドリンクバーに常備している使い捨てプラスチック製ストローを廃止し、2019年以降他の業態でも順次廃止する予定です。

今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、廃棄物やエネルギー問題による環境破壊に関するお客様の懸念が高まり続けることを踏まえ、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいります。

■「海洋プラスチックごみ対策 - 日本企業の先進的な取組例 -」掲載ページ
外務省 外交政策 ODAと地球規模の課題 地球環境 (6)海洋環境保全
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/index.html>

■「海洋プラスチックごみ対策 - 日本企業の先進的な取組例 -」[PDF]
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000429394.pdf>

【報道関係者のお問い合わせ先】
株式会社すかいらーくホールディングス CEO オフィス
広報担当：横田、北浦 TEL:0422-37-5310 E-MAIL: pr@skylark.co.jp

https://www.skylark.co.jp/company/news/press_release/2018/pk637h000001bqv0-att/181217_plahaishiMFAJ.pdf

発表資料（2019年11月27日）

テイクアウト・レジ袋をバイオマスプラスチックに変更

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 12 13 14

2020年に向けて
世界の共通した
「持続可能な開発目標」です

株式会社すかいらーくグループ

報道関係各位 2019年11月27日
株式会社すかいらーくホールディングス

テイクアウト・レジ袋をバイオマスプラスチックに変更 ～環境に配慮し、植物（サトウキビ）由来の原料に～ 2020年以降、カトラリーや弁当容器も順次切り替え

株式会社すかいらーくホールディングス（本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部：証券コード 3197）は、2019年12月より、すかいらーくレストランズ全店（ガスト、ジョナサン、パーマキヤン、夢庵等）で、テイクアウト・レジ袋を石油由来から環境に優しいバイオマスプラスチックに変更します。

当社は、プラスチックごみの不適切な廃棄が世界的に深刻な環境問題となる中、日本全国に店舗を展開するレストランチェーンとしてその削減に取り組むことが社会における重要なステップになると考え、昨年12月より使い捨てプラスチック製ストローの使用を順次廃止し、2019年7月末でグループ全店の廃止を完了いたしました。

次のステップとして、テイクアウト・レジ袋を石油由来から環境に優しいバイオマスプラスチックに順次変更します。バイオマスプラスチックとは、生物資源（バイオマス）から作られた合成樹脂で、このたび導入する素材は、植物由来（サトウキビの絞りカス）の原料から作られています。石油由来からバイオマスプラスチック100%へ変更することで、CO₂排出量を約180t/年、約60%削減することが可能となります。その後も段階的に環境に配慮した素材への切り替えを行っていきます。

【切り替えスケジュール】

2019年12月	テイクアウト・レジ袋 バイオマスプラスチックに順次切り替え
2020年2月	テイクアウト・宅配用 カトラリー（スプーンやフォーク） バイオマスプラスチックに順次切り替え
2020年中旬以降	テイクアウト・宅配用 弁当容器 環境に優しい素材に順次切り替え

すかいらーくグループは、事業を通じたSDGs（持続可能な開発目標）への貢献を重要課題と位置づけ、サステナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、地球環境保全にも積極的に取り組みます。



https://www.skylark.co.jp/company/news/press_release/2019/pk637h000002bi4a-att/1127.pdf

発表資料（2020年2月27日）

テイクアウト・宅配用カトラリーをバイオマスプラスチックに変更



2020年に向けて世界が意識した「持続可能な開発目標」です。

報道関係各位

2020年2月27日
株式会社すかいらーくホールディングス

テイクアウト・宅配用カトラリーを バイオマスプラスチックに変更 ～環境に配慮し、植物(ポリ乳酸・とうもろこし)由来の原料に～

株式会社すかいらーくホールディングス(本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部:証券コード3197)は、2020年2月より、すかいらーくレストランズ全店で、テイクアウト・宅配用のカトラリー(スプーン・フォーク・ナイフ)を石油由来のプラスチックから環境に優しいバイオマスプラスチックに変更します。



人に美味しく、街に美しく。

すかいらーくグループは、環境問題や人の健康などの社会課題の解決に取り組み、今後引き続き推進されるイノベーションに取り組んでいます。

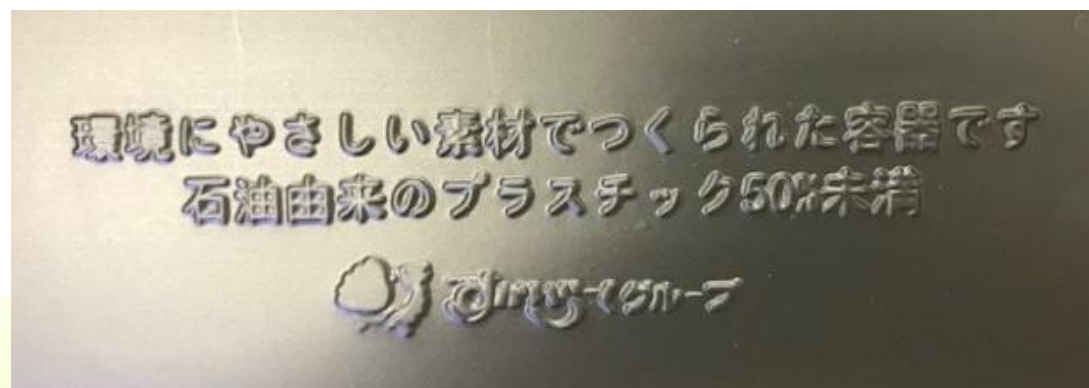
当社は、2019年7月、グループ全店でワンウェイ用途のプラスチック製ストロー廃止を完了しました。同年12月には、テイクアウト・レジ袋を石油由来のプラスチックから環境に優しいバイオマスプラスチックに変更しています。カトラリーに使用されるバイオマスプラスチックは、生物資源(バイオマス)から作られたプラスチックで、植物由来(ポリ乳酸・とうもろこし)の原料から作られています。石油由来のプラスチックからバイオマスプラスチックに変更することにより、焼却時のCO₂排出量を約188t/年、約46%削減します。

すかいらーくグループは、事業を通じたSDGs(持続可能な開発目標)への貢献を重要課題と位置づけ、サステナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、地球環境保全にも積極的に取り組みます。

https://www.skylark.co.jp/company/news/press_release/pk637h000002Inly-att/200227.pdf

発表予定（2020年秋）

割り箸袋、弁当容器を代替素材に変更予定



すかいらーくグループ全業態でプラスチック製ストローの使用を 2020年までに順次廃止 ～世界的な環境問題解決への取り組みの一環として～

株式会社すかいらーくホールディングス(本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部:証券コード 3197)は、このたび、すかいらーくグループの全業態(海外店舗含む)で使用している使い捨てプラスチック製ストローの使用を原則廃止することを決定しました。

その第一段階として、全国に約 1,370 店を展開するガストにおいて、ドリンクバーに常備しているプラスチック製ストローの使用を 2018 年 12 月までに廃止し、さらに、2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックまでに、全業態での使用を順次廃止してまいります。

なお、お子様や障害をお持ちの方など、ご要望や必要性があるお客様や、タピオカ入りドリンクやスムージーなどストローが不可欠な一部商品についてはストローをご提供しますが、すかいらーくグループでは、自然分解するプラスチックの素材や食材を使用した代替ストローなどの導入を検討し、環境問題へコミットメントをさらに高めてまいります。

「廃プラスチックによる広域的な海洋汚染や、漂着ゴミによる海岸における景観等の悪化は世界的に深刻な環境問題であり、海洋汚染防止にいち早く対応することが企業の責任と考えます。日本最大のレストランチェーンである当社がこの問題に取り組むことが社会における重要なステップになると考え、第一段階としてガスト全店舗のドリンクバーにおける使い捨てプラスチック製ストローの常備廃止に踏み切りました。引き続き、環境保護への取り組みを拡大し、サステイナブルな食事にコミットする企業を目指してまいります」と会長兼社長 谷 真は述べています。

すかいらーくグループは、外食産業のリーディングカンパニーとして、事業を通じた SDGs(持続可能な開発目標)への貢献を重要課題と位置づけ、サステナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。店舗照明における LED 導入および従業員一丸となった省エネ・節水活動に加え、設備機器のメンテナンスや最新の省エネ機器導入による電気・水使用量の削減(8 年間で約 20%削減)、製造・物流における CO₂ の削減(直近の 6 年間で 20%以上削減)、食を通じて心身ともに健康な子供の成長を支えるリトルリーグの支援、ラオスにおける子供の教育支援としての絵本寄附などを着実に実施してまいりました。

今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、廃棄物やエネルギー問題による環境破壊に関するお客様の懸念が高まり続けることを踏まえ、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいります。

【企業情報】

商号 : 株式会社すかいらーくホールディングス(SKYLARK HOLDINGS CO., LTD)
代表者 : 代表取締役会長兼社長 谷 真
事業内容 : フードサービス事業全般、その他周辺事業
上場市場 : 東京証券取引所第一部(証券コード 3197)
グループ店舗数 : 国内グループ 3,133 店 海外を含む 3,187 店 (2018 年 6 月 30 日現在)

【報道関係者のお問い合わせ先】

株式会社すかいらーく CEO オフィス
広報担当:横田、北浦 TEL:0422-37-5310 E-MAIL: pr@skylark.co.jp

ガスト全店で使い捨てプラスチック製ストローを廃止 ストローが必要なお客様にはバイオマスストロー™*をご提供 2019年以降、他の業態でも順次廃止し、2020年までに全廃

株式会社すかいらーくホールディングス(本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部:証券コード3197)は、本日よりガスト全1,367店でドリンクバーに常備している使い捨てプラスチック製ストローを廃止します。特にご要望があった場合には、トウモロコシを原料とした生分解性のバイオマスストロー™をご提供します。

当社は、プラスチックごみの不適切な廃棄が世界的に深刻な環境問題となる中、日本最大のレストランチェーンとしてその削減に取り組むことが社会における重要なステップになると考え、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックまでに、全業態の使い捨てプラスチック製ストローの使用を順次廃止することを2018年8月に発表しております。

2018年9月より、都内の一部店舗でストロー廃止の実験を開始するとともに、ご要望に応じて提供するストローの素材として、紙、生分解性素材、食材等の代替品の導入を検討の結果、生分解性のバイオマスに決定しました。

バイオマスは、土中の微生物により最終的に水と二酸化炭素に分解されます。焼却した場合でも有害物質が発生せず、原料となる植物が光合成により二酸化炭素を吸収するため大気中の二酸化炭素の量が変わらないことから、地球温暖化防止に貢献すると考えられます。

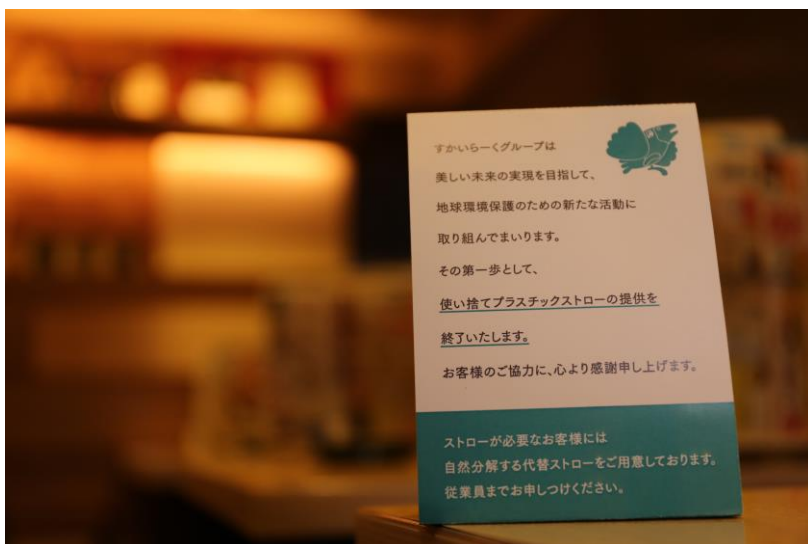
すかいらーくグループは、事業を通じたSDGs(持続可能な開発目標)への貢献を重要課題と位置づけ、サステナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。店舗照明におけるLED導入および従業員一丸となった省エネ・節水活動に加え、設備機器のメンテナンスや最新の省エネ機器導入による電気・水使用量の削減(8年間で約20%削減)、製造・物流におけるCO₂の削減(直近の6年間で20%以上削減)などを着実に実施してまいりました。

今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、廃棄物やエネルギー問題による環境破壊に関するお客様の懸念が高まり続けることを踏まえ、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいります。

※バイオマスストロー™は、当社が所有する商標です(商標登録出願済)。



全国のガスト 1,367 店でドリンクバーの使い捨てプラスチック製ストローを廃止



地球環境保護に対するお客様へのご協力をお願いする POP を各テーブルに設置

【企業情報】

商号 : 株式会社すかいらーくホールディングス (SKYLARK HOLDINGS CO., LTD.)
代表者 : 代表取締役会長兼社長 谷 真
事業内容 : フードサービス事業全般、その他周辺事業
上場市場 : 東京証券取引所第一部 (証券コード 3197)
グループ店舗数 : 国内グループ 3,147 店 海外を含む 3,203 店 (2018 年 11 月 30 日現在)

【報道関係者のお問い合わせ先】

株式会社すかいらーくホールディングス GEO オフィス
広報担当: 横田、北浦 TEL: 0422-37-5310 E-MAIL: pr@skylark.co.jp

外務省の「海洋プラスチックごみ対策 － 日本企業の先進的な取組例 －」に掲載

株式会社すかいらくホールディングス(本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部:証券コード 3197)のプラスチックストロー使用量削減の取り組みが、このたび外務省の「海洋プラスチックごみ対策 - 日本企業の先進的な取組例 - 」に掲載されました。

外務省によれば、海洋プラスチックごみ問題を解決するためには、消費者や民間企業の取り組みが重要であり、日本企業も自社製品やサービスを通じて、海洋プラスチックごみ対策と持続可能な社会の実現に寄与しています。

当社は2018年12月10日、ガスト全1,367店でドリンクバーに常備している使い捨てプラスチック製ストローを廃止し、2019年以降他の業態でも順次廃止する予定です。

今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、廃棄物やエネルギー問題による環境破壊に関するお客様の懸念が高まり続けることを踏まえ、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいります。

■「海洋プラスチックごみ対策 - 日本企業の先進的な取組例 - 」掲載ページ

外務省 外交政策 ODAと地球規模の課題 地球環境 (6)海洋環境保全

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/index.html>

■「海洋プラスチックごみ対策 - 日本企業の先進的な取組例 - 」[PDF]

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000429394.pdf>

【報道関係者のお問い合わせ先】

株式会社すかいらくホールディングス GEO オフィス
広報担当:横田、北浦 TEL:0422-37-5310 E-MAIL: pr@skylark.co.jp

すかいらーくレストランズ全店約 1,400 店で
6月6日より使い捨てプラスチック製ストローを廃止
国内店舗の 88%にあたる 2,795 店舗でストロー廃止を完了
タピオカドリンク用ストローもバイオマスストロー™に

株式会社すかいらーくホールディングス(本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部:証券コード 3197、以下、すかいらーく)は、2019年6月6日(木)より、すかいらーくレストランズ全店で、ドリンクバーに常備している使い捨てプラスチック製ストローを廃止します。

すかいらーくグループでは、2018年12月にガスト全店で、2019年3月に chawan で使い捨てプラスチック製ストローを廃止し、このたびバーミヤン、ジョナサンなど 13 ブランドでも廃止いたします。

2019年7月にはニラックス株式会社、株式会社トマトアンドアソシエイツの店舗においても使い捨てプラスチック製ストローを廃止する予定です。

なお、ご要望があった場合には、トウモロコシを原料とした生分解性のバイオマスストロー™をご提供します。

すかいらーくグループでは、今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、環境保全にも積極的に取り組んでまいります。



お客様にご協力をお願いする店内 POP



ジョナサン、パーミヤンのタピオカドリンクにもバイオマスストロー™
を使用



【概要】

- ・すかいらーくレストランツ店舗数： 2,795 店(2019 年 5 月 31 日現在)
- ・2019 年 6 月 6 日に使い捨てプラスチック製ストローを廃止するブランド ※()内は店舗数：
パーミヤン(332)、ジョナサン(296)、しゃぶ葉(249)、夢庵(188)、ステーキガスト(135)、グラッチェガー
デンズ(58)、藍屋(47)、魚屋路(24)、とんから亭(12)、ゆめあん食堂(4)、から好し(49)、三〇三(1)、
かつ久(2)

【企業情報】

- 商号 : 株式会社すかいらーくホールディングス(SKYLARK HOLDINGS CO., LTD.)
- 代表者 : 代表取締役会長兼社長 谷 真
- 事業内容 : フードサービス事業全般、その他周辺事業
- 上場市場 : 東京証券取引所第一部(証券コード 3197)
- グループ店舗数 : 国内グループ 3,168 店 海外を含む 3,225 店
(2019 年 5 月 31 日現在)

【報道関係者のお問い合わせ先】

株式会社すかいらーくホールディングス CEO オフィス
広報担当:横田、北浦 TEL:0422-37-5310 E-MAIL: pr@skylark.co.jp



報道関係各位

2019年11月27日

株式会社すかいらーくホールディングス

テイクアウト・レジ袋をバイオマスプラスチックに変更 ～環境に配慮し、植物(サトウキビ)由来の原料に～ 2020年以降、カトラリーや弁当容器も順次切り替え

株式会社すかいらーくホールディングス(本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部:証券コード 3197)は、2019年12月より、すかいらーくレストランズ全店(ガスト、ジョナサン、バーミヤン、夢庵等)で、テイクアウト・レジ袋を石油由来から環境に優しいバイオマスプラスチックに変更します。

当社は、プラスチックごみの不適切な廃棄が世界的に深刻な環境問題となる中、日本全国に店舗を展開するレストランチェーンとしてその削減に取り組むことが社会における重要なステップになると考え、昨年12月より使い捨てプラスチック製ストローの使用を順次廃止し、2019年7月末でグループ全店の廃止を完了いたしました。

次のステップとして、テイクアウト・レジ袋を石油由来から環境に優しいバイオマスプラスチックに順次変更します。バイオマスプラスチックとは、生物資源(バイオマス)から作られた合成樹脂で、このたび導入する素材は、植物由来(サトウキビの絞りカス)の原料から作られています。石油由来からバイオマスプラスチック100%へ変更することで、CO₂排出量を約180t/年、約60%削減することが可能となります。その後も段階的に環境に配慮した素材への切り替えを行っていきます。

【切り替えスケジュール】

2019年12月	テイクアウト・レジ袋 バイオマスプラスチックに順次切り替え
2020年2月	テイクアウト・宅配用 カトラリー(スプーンやフォーク) バイオマスプラスチックに順次切り替え
2020年 中旬 以降	テイクアウト・宅配用 弁当容器 環境に優しい素材に順次切り替え

すかいらーくグループは、事業を通じたSDGs(持続可能な開発目標)への貢献を重要課題と位置づけ、サステナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、地球環境保全にも積極的に取り組みます。

【企業情報】

商号 : 株式会社すかいらーくホールディングス(SKYLARK HOLDINGS CO., LTD.)
代表者 : 代表取締役会長兼社長 谷 真
事業内容 : フードサービス事業全般、その他周辺事業
上場市場 : 東京証券取引所第一部(証券コード 3197)
グループ店舗数 : 国内グループ 3,183 店 海外を含む 3,242 店 (2019 年 10 月 31 日現在)

【報道関係者のお問い合わせ先】

株式会社すかいらーくホールディングス CEO オフィス
広報担当:横田、北浦 TEL:0422-37-5310 E-MAIL: pr@skylark.co.jp

本リリースは、ステークホルダーの皆様にご覧いただき、当社の商品・サービス等の情報提供を目的としたものであり、当社株式への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定については、皆様ご自身のご判断により行われるようお願いいたします。当社は、サービスの提供を予告なく、中止・変更することがあります。



報道関係各位

2020年2月27日

株式会社すかいらーくホールディングス

テイクアウト・宅配用カトラリーを バイオマスプラスチックに変更

～環境に配慮し、植物(ポリ乳酸・とうもろこし)由来の原料に～

株式会社すかいらーくホールディングス(本社・東京都武蔵野市、代表取締役会長兼社長・谷 真、東証一部:証券コード3197)は、2020年2月より、すかいらーくレストランズ全店で、テイクアウト・宅配用のカトラリー(スプーン・フォーク・ナイフ)を石油由来のプラスチックから環境に優しいバイオマスプラスチックに変更します。



当社は、2019年7月、グループ全店でワンウェイ用途のプラスチック製ストロー廃止を完了しました。同年12月には、テイクアウト・レジ袋を石油由来のプラスチックから環境に優しいバイオマスプラスチックに変更しています。カトラリーに使用されるバイオマスプラスチックは、生物資源(バイオマス)から作られたプラスチックで、植物由来(ポリ乳酸・とうもろこし)の原料から作られています。石油由来のプラスチックからバイオマスプラスチックに変更することにより、焼却時のCO₂排出量を約188t/年、約46%削減します。

すかいらーくグループは、事業を通じたSDGs(持続可能な開発目標)への貢献を重要課題と位置づけ、サステナビリティと社会価値増大を実現するため、さまざまな取り組みを行ってまいりました。今後も安全・安心な食の提供を通じて地域社会に貢献するとともに、地球環境保全にも積極的に取り組みます。

【企業情報】

商号 : 株式会社すかいらーくホールディングス(SKYLARK HOLDINGS CO., LTD.)
代表者 : 代表取締役会長兼社長 谷 真
事業内容 : フードサービス事業全般、その他周辺事業
上場市場 : 東京証券取引所第一部(証券コード 3197)
グループ店舗数 : 国内グループ 3,190 店 海外を含む 3,251 店 (2020 年 1 月 31 日現在)

【報道関係者のお問い合わせ先】

株式会社すかいらーくホールディングス CEO オフィス
広報担当:横田、北浦 TEL:0422-37-5310 E-MAIL: pr@skylark.co.jp

本リリースは、ステークホルダーの皆様へ当社の商品・サービス等の情報提供を目的としたものであり、当社株式への投資勧誘をするものではありません。投資に関する決定については、皆様ご自身のご判断により行われるようお願いいたします。当社は、サービスの提供を予告なく、中止・変更することがあります。